

第2 環境と文化の伝承

<< 現状と課題 >>

- ・丹後地域には、世界文化遺産登録をめざす日本三景として名高い天橋立や山陰海岸ジオパーク、山陰海岸国立公園など、世界に誇りうるすばらしい自然環境があります。
また、丹後王国、丹後七姫や浦島太郎等につまわる歴史や伝説、人の営みと絡む棚田や笹葺き民家など、人と自然とのかかわりによって形成された景観が数多く残されています。
こうしたことが評価され、平成19年8月には、里地・里山のすばらしい景観がある自然公園として「丹後天橋立大江山国定公園」が指定されました。
- ・先人たちが守ってきたこれらの自然や暮らしを次世代に守るべき資産として伝えていくための様々な課題に対応していく必要があります。

(1) 丹後地域の美しい景観や自然

- ・琴引浜や内山のブナ林、宇川等では自然を守る取組が続けられてきました。
また、伊根町の舟屋群や与謝野町のちりめん街道、京丹後市久美浜町の一区等では、町並み保全に向けた取組が進められています。
- ・天橋立については、世界文化遺産登録をめざした取組が行われています。
また「宮津天橋立の文化的景観」が国の重要文化的景観に選定されるとともに、天橋立周辺地域景観計画に基づく町並み保全や阿蘇海の環境改善の取組等が行われています。
- ・京都府・兵庫県・鳥取県にまたがる「山陰海岸ジオパーク」は、地質遺産をいかしたジオツーリズムや、科学者や地元でガイド活動等にかかわる人のネットワークづくりなどが行われており、丹後地域の豊かな自然環境を地域振興につなげていく必要があります。
- ・こうした課題に対応するためには、コーディネーター的役割を担う人材の育成も必要となっています。

(2) 森林の保全・間伐・モデルフォレスト運動

- ・森林は、木材生産だけではなく、水源のかん養・土砂の流出防止、美しい景観の形成、地球温暖化防止、環境学習や健康づくりの場の提供など公益的機能も果たしています。
- ・木材価格の低迷や担い手の高齢化等により、適正な管理が行われていない森林が増え、林床に光が入らず、植生が育たないために降雨により表土が流出するなど、丹後地域の森林の荒廃による環境への影響が懸念されています。
- ・森林の整備・保全を進めるため、持続可能な資源である木材・竹材の利用促進や森林施業の担い手確保とともに、地域の森林を地域全体で守っていくモデルフォレスト運動の継続的な取組や平成28年に開催される「全国育樹祭」に向けて府民参加を一層拡大する取組が必要です。

(3) 自然と調和する文化・スポーツ振興

- ・丹後地域には、古墳や社寺等の建造物など、歴史と文化が息づいています。
また、伝統的な技術や行祭事については、少子高齢化等の影響で、伝承が難しくなりつつある中で、地域活動団体等による「藤織り」や「笹葺き民家」の維持、伝統芸能の「翁三番叟」をはじめとする伝承のための活動もみられます。
- ・丹後地域における貴重な文化遺産や活動を次世代に確実に引き継いでいくことが地域の活性化に不可欠であり、次世代への文化伝承につなげる取組を進める必要があります。
- ・交流人口の拡大を図るために各地でスポーツ大会の開催が増えてきており、地域活性化につなが

る「スポーツ観光」としての積極的な支援が求められています。

(4) 再生可能エネルギー等の活用

- ・平成23年3月に発生した東日本大震災による原子力発電所の事故を踏まえ、府民生活の安心・安全の確保や地球温暖化の観点から、再生可能エネルギーなど多様なエネルギーの重要性が一層高まっています。

目標：山陰海岸ジオパークの「世界ジオパークネットワーク」平成30年度再認定

(平成26年度：再認定)

：海岸松林の保全・整備面積 20ha (平成25年度：17ha)

<< 重点施策 >>

- 丹後地域の美しい海と山、伝統ある町並みなどで構成される景観や地域に伝わる文化等を次世代に引き継ぐために、総合的な視点で守り育ていかす取組を進めます。

(1) 山陰海岸ジオパークや天橋立等丹後地域ならではの自然環境・文化の保全と発信

ア 山陰海岸ジオパークの学術・観光資源の有効活用

- ・地域の自然遺産の保全意識向上、子どもたちへの学習活動、観光振興や地域振興への山陰海岸ジオパークの活用
- ・ジオパークの拠点整備の支援
- ・「山陰海岸ジオパーク広場」(仮称)の整備
- ・ジオパークガイド等の人材育成やジオツアー・コースの設定
- ・漁船クルージングの運航区域拡大と連携による観光用海上交通網の整備

イ 天橋立の世界文化遺産登録をめざした取組

- ・世界文化遺産登録(当面、暫定リスト入りをめざす)に向けた取組を通じ、行政と地域が一体となった松並木保全や海岸の清掃、侵食対策等の環境保全活動の促進
- ・国際シンポジウムや文化・歴史講座等の開催など、日本の文化景観の原点としての国際的価値を高める取組の推進
- ・広葉樹の伐採等による天橋立の松並木の適正な管理

ウ 文化的景観保全活動の発信

- ・宮津天橋立の文化的景観や京丹後市久美浜町の一区、伊根町の舟屋群、与謝野町のちりめん街道など、地域一体となった町並み保全に向けた活動及び発信への支援

(2) 丹後地域の豊かな自然環境を守り育てる取組の推進

ア 健全な森林等の育成・保全

- ・森林ボランティアによる保全活動など地域の森林を地域全体で支えるモデルフォレスト運動の推進
- ・全国育樹祭に向けた「地域育樹祭」の開催

- ・森林経営計画の策定による間伐材の利用推進
- ・森林パトロールの強化による違法開発の抑止
- ・公益的機能が期待される保安林における治山事業の推進
- ・府立林業大学校と連携した林業の担い手育成及び林業経営体の経営力向上の支援
- ・竹林伐採や竹林の広葉樹への樹種転換及び転換後の地域住民との協働による保育の実施
- ・海岸松林の整備と再生

イ 府内産木材の利用拡大

- ・地域産木材利用のネットワークの構築
- ・公共建築物等での活用促進
- ・木製治山ダムの整備など公共事業での府内産木材の利用促進

ウ 次世代を担う子どもの環境学習の推進

- ・山陰海岸ジオパークや丹後天橋立大江山国定公園など優れた自然環境、身近な河川や海岸等を活用した自然との共生、循環型社会システムの体験・学習活動の展開
- ・府立青少年海洋センター（マリーンピア）や府立丹後海と星の見える丘公園など既存施設の有効活用

エ 阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善

- ・河川流域及び海岸周辺の住民との協働（阿蘇海環境づくり協働会議の取組等）による環境改善活動の推進、専門家による効果的な取組方法の調査・検討
- ・富栄養化の原因と考えられる農業排水や生活排水の流入防止を図る「浅水代かき」農法の普及や環境学習等の推進
- ・アサリ養殖の推進
- ・天然マガキの商業活用の推進
- ・アオサなど未利用海藻類の肥料化等による有効利用の推進

オ 海岸線等の環境保全

- ・地域と協働した海岸林の再生（防災機能の向上及び観光振興）
- ・棚田の美しい景観の維持を図るための持続的な農業生産と農業水利機能の保全等による地域ボランティア団体、企業等との連携活動の推進
- ・市町と連携した海岸漂着ゴミ清掃等の実施

カ 自然環境保全地域等の保全

- ・「京都府環境を守り育てる条例」に基づき指定した上世屋・内山地域の府自然環境保全地域等での自然環境保全監視員による監視の徹底など丹後地域の優れた自然環境保全の推進

（３）地域文化の伝承、スポーツ観光の推進

ア 若者の文化活動の場の創出

- ・若者の地域の文化活動の発表の場としての「食と文化の祭典」の開催
- ・ふるさとの文化や文化財に親しむ機会の創出
- ・地域での様々な文化活動や次世代の文化体験活動等への支援

イ 地域文化の伝承活動や人材育成の支援

- ・地域の行祭事や食文化を再認識する機会の提供、途切れた行祭事の復活や継承する人材育成への支援
- ・地域に残る貴重な建造物等の文化資料の保全活動への支援

ウ スポーツ観光の推進

- ・交流人口の増加をめざして各地で開催されるスポーツ大会への支援
- ・地域の特性をいかしたスポーツ観光の聖地づくりの推進

(4) 再生可能エネルギー等の活用

ア 木質バイオマス等再生可能エネルギー活用の推進

- ・伐採した木材等のエネルギー分野での活用促進への支援
- ・伐採後の未利用木材等のエネルギー利用の推進
- ・太陽光等自然エネルギーの有効活用の推進

イ 安定的な電力の確保

- ・関西電力宮津火力発電所の運転再開要請